

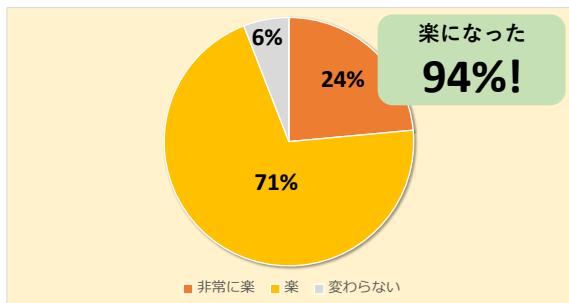
目的に合わせて使う

水管理の負担を軽減したい

Aquaport

水管理はAquaportに任せ、生育や異常点検を自分の目で。

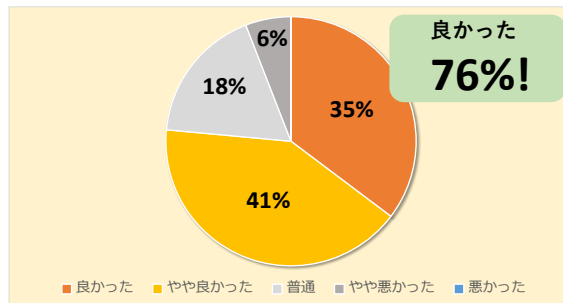
水管理は楽になりましたか？



Good! 水口の高さの調整・車の乗り降り・遠くの圃場への移動等の負担が軽減された。

Point! 地主に任せているのであまり変わらなかった。水路側の水門の調整で現場に行かないといけないときがあり、あまり変わらなかった。

水管理をした感触はどうでしたか？



Good! 除草剤散布のときに実感。遠くの圃場はいつもより丁寧な水管理ができた。

Point! センサーに藻が絡まっていないかの確認はたまに行う必要があった。

※本データはJA全農実施の令和3年度実証試験にて12県17地区より得られたアンケート結果（2021/9/17時点）を元に作成いたしました。

細やかな管理をしたい

Aquaport+

Aquaport+で中干し以降の水管理もいつもより丁寧にできる。



中干し 3日間湛水・4日間落水の間断灌漑



Aquaportを水口・水戸で使ってみたところ、排水の管理もできました。Aquaportを使うと入水～湛水～落水～止水という一連の流れができるので、間断灌漑の間隔も調整することが出来ます。水戸の調整のための移動負担が減るのもいいですね。（農研機構 中村乾上級研究員）

※本データは令和3年度実施の農研機構との共同実証試験の結果を元に作成いたしました。

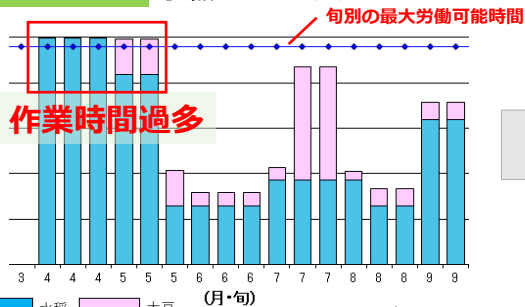
他の作物の栽培にも力を入れたい

Aquaport Aquaport+

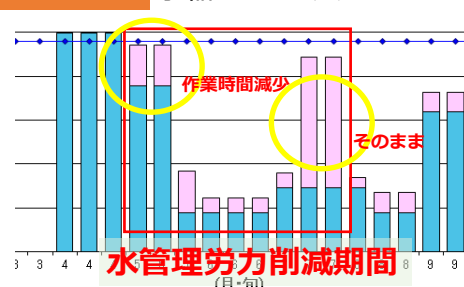
水稲はAquaportを中心に管理。他の作物の時間を確保できる。

A農家（家族経営(3名)）の場合

Before 水稲10ha+大豆10ha

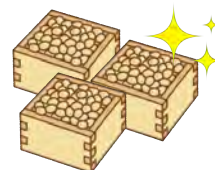


After 水稲10ha+大豆12ha



作付面積：2ha増加！

作業時間：水管理時間削減により期間中の増加なし！



※本データはJA全農実施の令和3年度実証試験を元に、旬別の標準作業労働時間を参考として作成したシミュレーション結果です。